年末年始特番

世界の株式マーケット展望
～2015年の有望市場を探る～

投資戦略部
壁谷洋和

グローバル株式アウトルック～変わらないトレンド～

◎目線は再び先進国へ～日米が主導する展開

米国 ：量的緩和終了でも、堅調消費が相場押し上げ

日本 ：アベノミクス継続。円安による業績拡大を期待

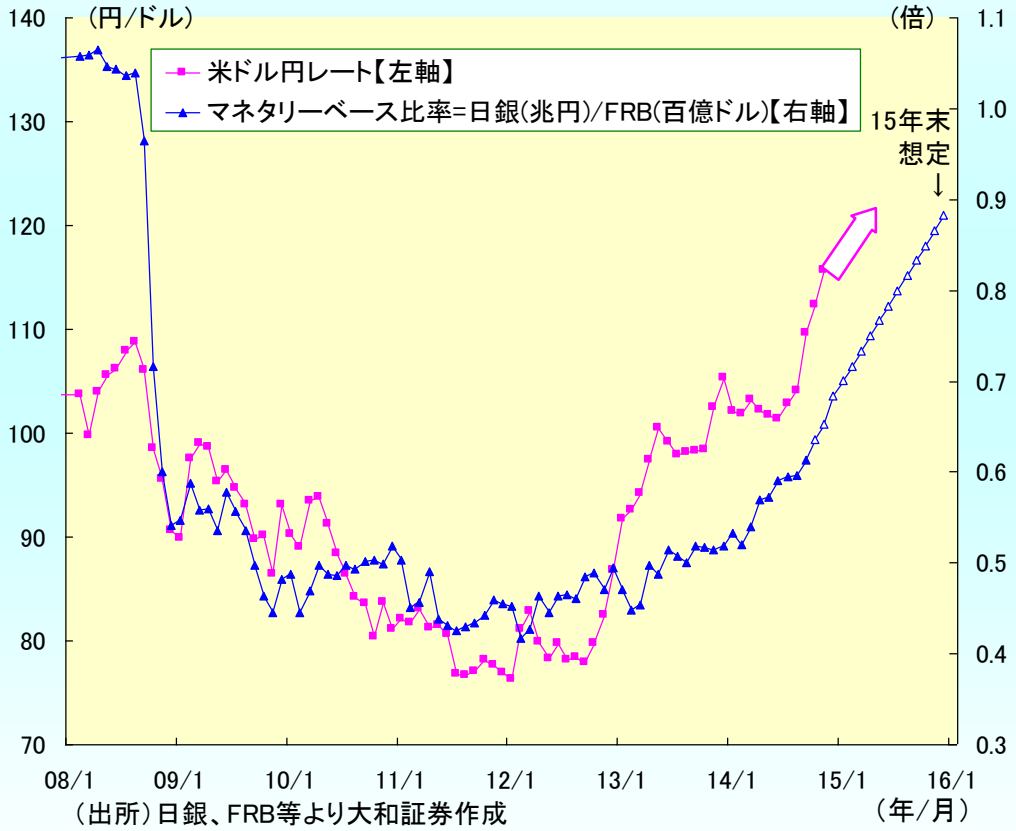
欧州 ：景気実体弱いが量的緩和策導入に期待高まる

中国 ：15年の成長見通し引き下げも。慎重な見方

その他新興国 ：原油価格下落でダメージも

【日本】円安進行で業績拡大／日銀のETF購入も支え

米ドル円レートとマネタリーベース比率（週次）



（出所）日銀、FRB等より大和証券作成

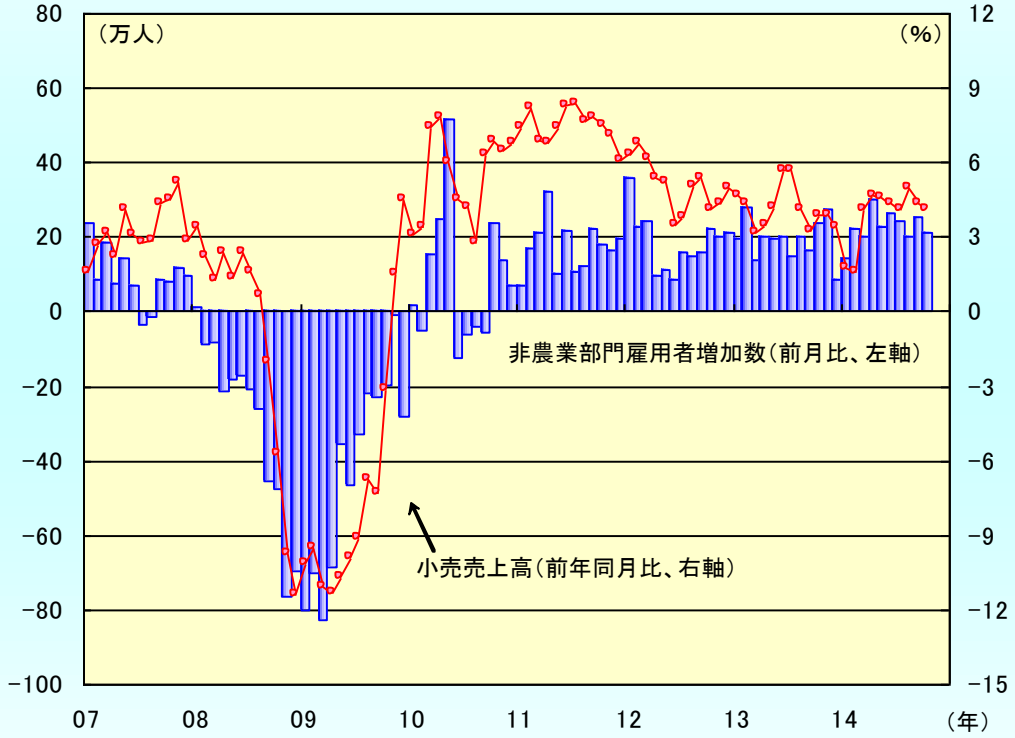
「量的・質的金融緩和」の拡大（単位：兆円）

	13年末（実績）	14年末（見通し）	今後の年間増加ペース
マネタリーベース	202	275	＋約80兆円
長期国債	142	200	＋約80兆円
CP等	2.2	2.2	残高維持
社債等	3.2	3.2	残高維持
ETF	2.5	3.8	＋約3兆円
J－REIT	0.14	0.18	＋約900億円
その他とも資産計	224	297	－

（出所）日銀資料より大和証券作成

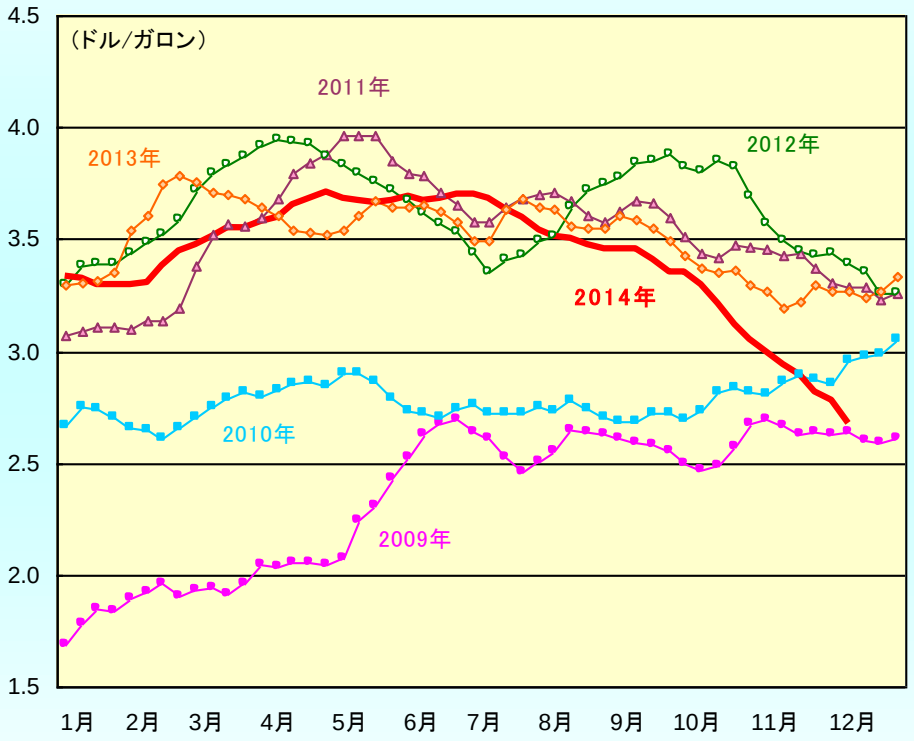
【米国】着実な景気回復続く/ガソリン安が消費に＋

米非農業部門雇用者数と小売売上高



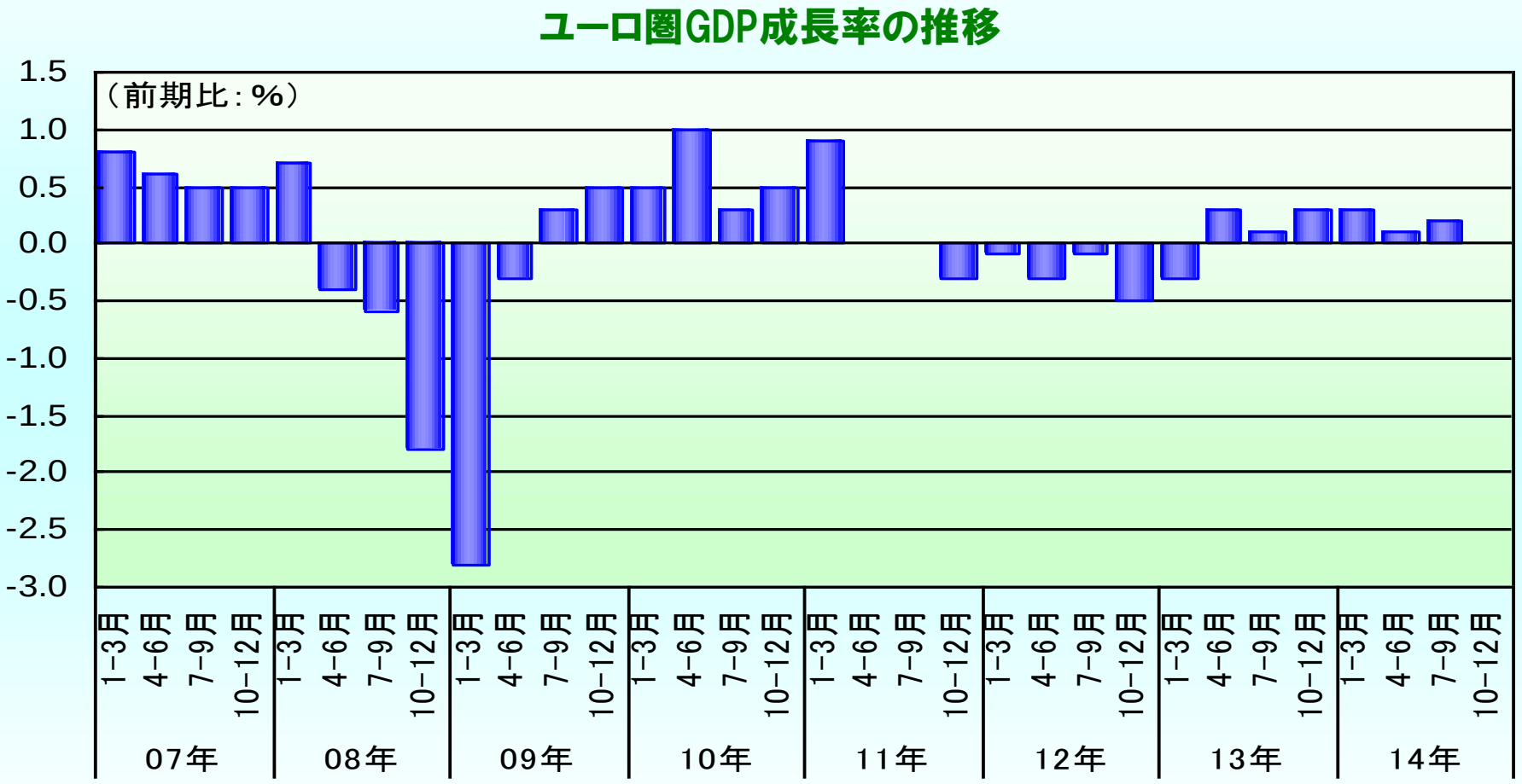
（出所）トムソン・ロイターより大和証券作成

全米レギュラーガソリン価格の推移



（注）米エネルギー省より大和証券作成

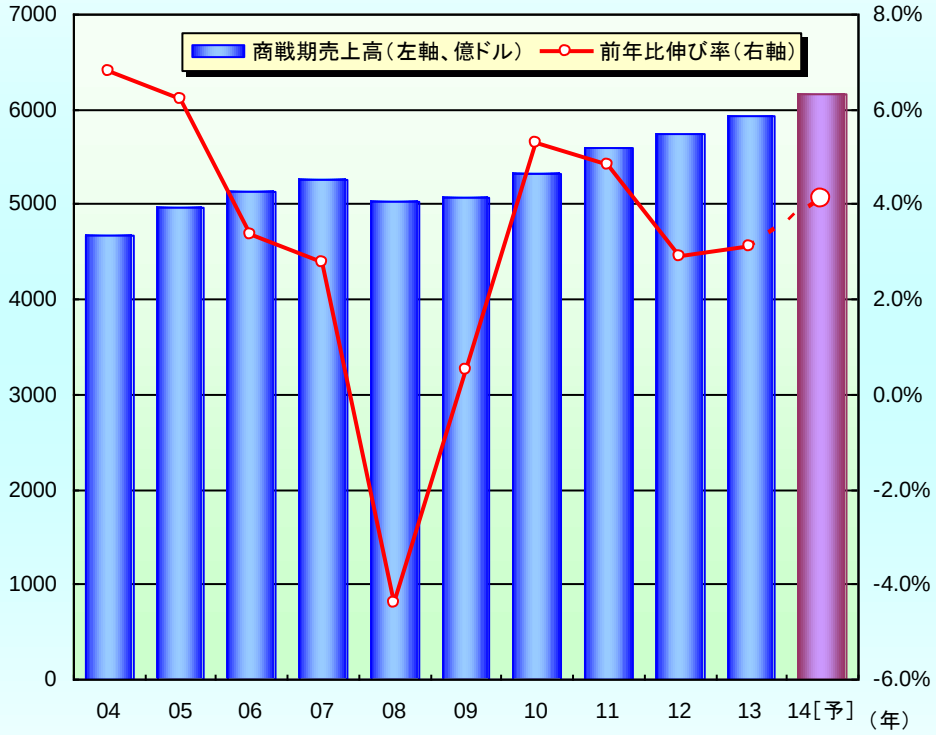
【欧州】量的緩和策が導入されれば状況は好転



（出所）ユーロスタットより大和証券作成

米消費者マインドは改善／商戦は堅調推移か

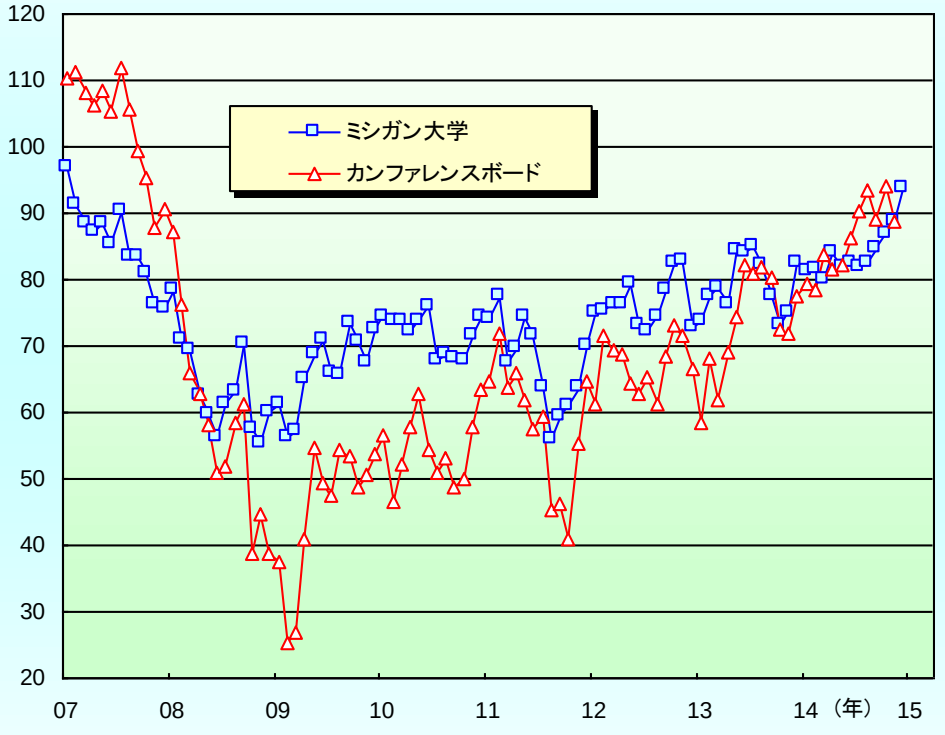
ホリデー商戦期（11-12月）の小売売上推移



（出所）全米小売業協会[NRF]

（注）2014年はNRFによる予想

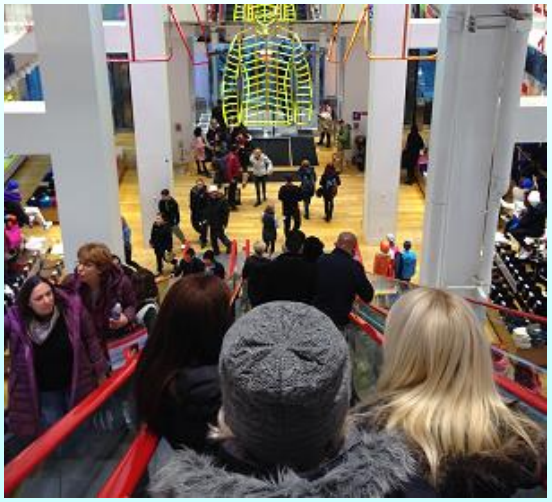
消費者信頼感指数の推移



（出所）トムソン・ロイターより大和証券作成

買い物客で賑わうニューヨークのクリスマス

五番街のユニクロ店内の様子



ティファニー本店の様子

Wargdorf Goodman前を行きかう人々

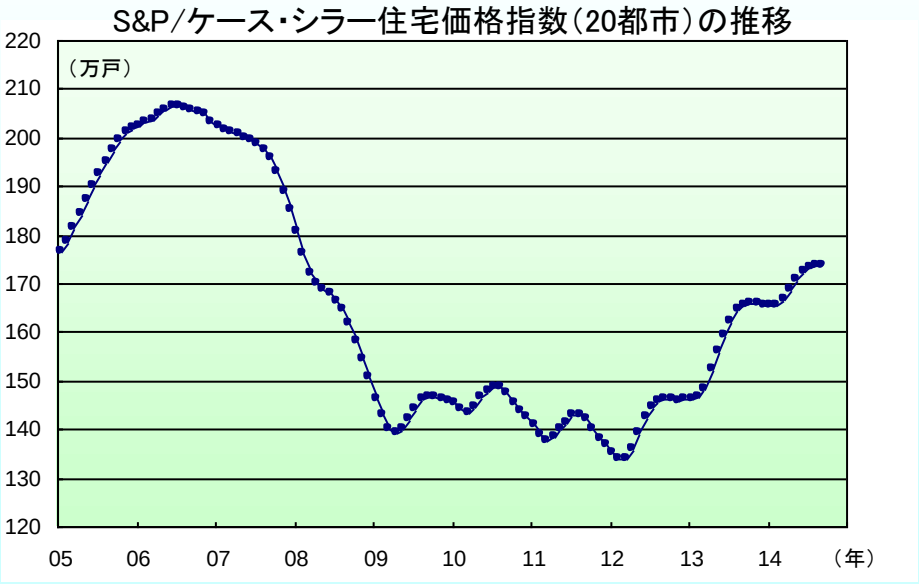
アメリカン・ガールズの店内の様子

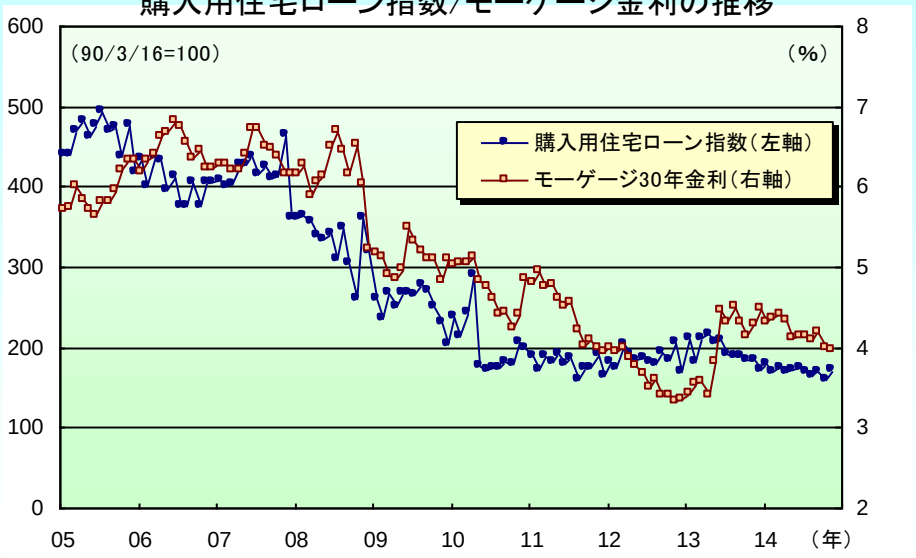
Bloomingdale’s店内の様子

ヘンリ・ベンデルの店内の様子

（出所）写真はすべて筆者撮影

過熱なき米住宅市場の回復

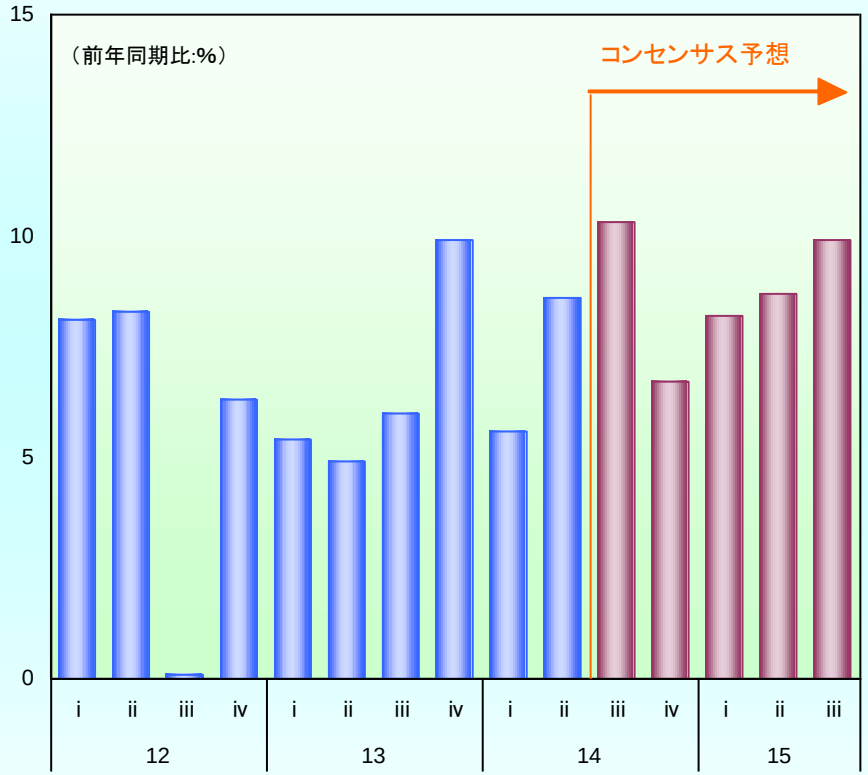




（出所）全米不動産業者協会[NAR]、Bloombergより大和証券作成

業績堅調。自社株買いがEPSをさらに押し上げ

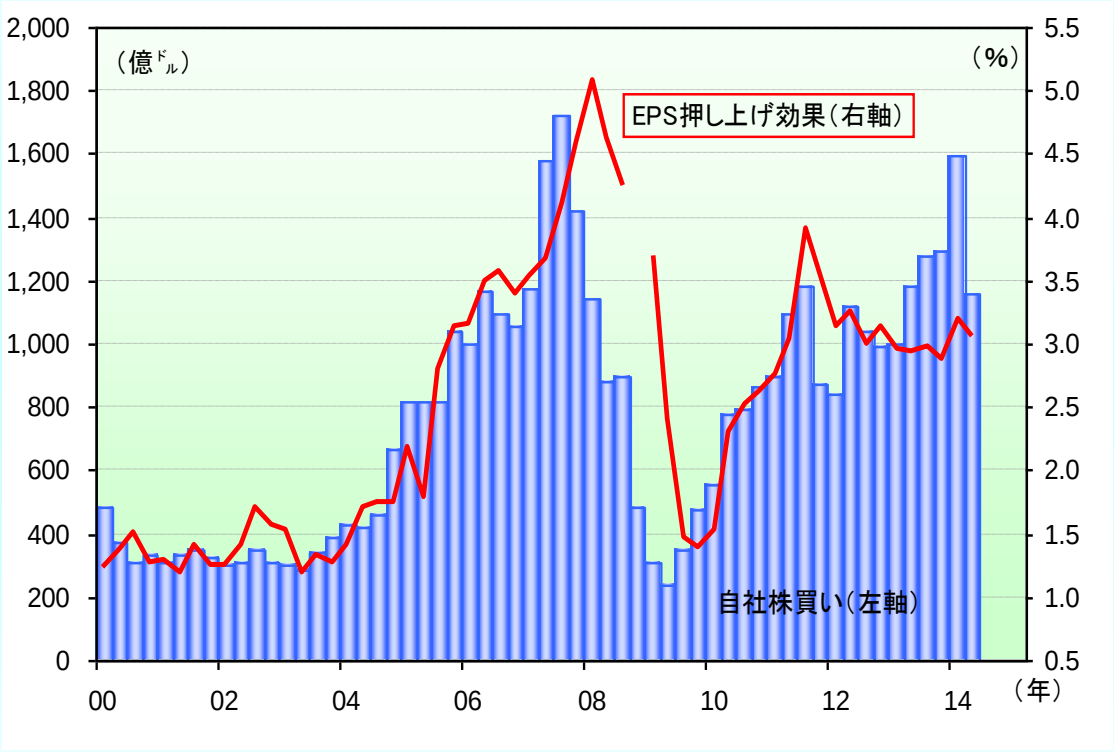
S&P500増益率予想の推移



（出所）トムソン・ロイター等より大和証券作成

（注）増益率は1株あたり利益ベース

S&P500 自社株買い総額とEPS押し上げ効果



（出所）出所：S&Pより大和証券作成

（注）08年10-12月期は赤字のため除いた。EPS押し上げ効果は過去4四半期の自社株買いを足し上げて計算

NYダウの2015年末の予想値は18,500ドル

株価指数の予想レンジ

		14 10-12月期 E	15 1-3月期 E	4-6月期 E	7-9月期 E	10-12月期 E
NYダウ（ドル）	期末値	18,000	18,000	18,500	18,000	18,500
	予想レンジ	16,117 ～ 18,500	16,500 ～ 19,000	17,000 ～ 19,500	16,500 ～ 19,000	17,000 ～ 19,000
ナスダック（ポイント）	期末値	4,850	4,850	5,000	4,850	5,000
	予想レンジ	4,213 ～ 4,950	4,300 ～ 5,000	4,500 ～ 5,200	4,300 ～ 5,000	4,500 ～ 5,100
S&P500（ポイント）	期末値	2,100	2,100	2,150	2,100	2,150
	予想レンジ	1,862 ～ 2,150	1,900 ～ 2,200	1,950 ～ 2,250	1,900 ～ 2,200	1,950 ～ 2,200

原油価格の下落は一時的か米国株の上昇トレンド継続

（出所） トムソン・ロイターより大和証券作成

グローバル株式アウトルック～変わらないトレンド～

◎目線は再び先進国へ～日米が主導する展開

米国 ：量的緩和終了でも、堅調消費が相場押し上げ

日本 ：アベノミクス継続。円安による業績拡大を期待

欧州 ：景気実体弱いが量的緩和策導入に期待高まる

中国 ：15年の成長見通し引き下げも。慎重な見方

その他新興国 ：原油価格下落でダメージも